

## 株式会社 源 吉兆庵農園



### ●農業経営の概要

所在地：岡山県岡山市南区東畦934  
 参入形態：農地所有適格法人（平成25年設立）  
 経営品目：果樹（マスカット・オブ・アレキサンドリア 40a）  
 資本金：2,500万円  
 労働力：社員2名、契約社員3名、繁忙期は関連会社から3名  
 関連会社：株式会社 源 吉兆庵ホールディングス  
 （事業内容：和菓子の製造・販売）

（調査年月日：令和2年10月）

## ～岡山のこだわり果実を和菓子に～

### 農業参入の目的

グループ会社「株式会社 源吉兆庵」が販売する和菓子「陸乃宝珠<sup>りくのほうしゅ</sup>」は、岡山県産マスカット・オブ・アレキサンドリア（以下、「アレキ」）を丸ごと1粒使った看板商品。県内アレキ産地の高齢化や種なし品種への切り替えが進み生産量が減る中、原材料の安定確保を図るため、自社栽培を開始した。



和菓子「陸乃宝珠」

### 農地の確保

農地は、貸借でなく所有できること、和菓子の製造工場に近いこと等を条件に、（一財）岡山県農林漁業担い手育成財団（以下、「財団」）や農業委員会等に、仲介や情報提供を依頼して模索した。立地や価格面で条件が揃わず、時間は要したが、関係機関の支援や積極的な情報収集により、工場から近い岡山市南区東畦に後継者不在の水田が見つかり、平成26年に50aを取得した。

### 農業経営の経緯や現況

#### <生産部門>

- ・栽培品種はアレキのみ（40a）で、計画的な栽培や樹の個体管理が容易にできる「根域制限栽培」を取り入れ、加温栽培を行っている。栽培開始前には、県内のブドウ農家の下で従業員が技術指導を受け、技術習得を図った経緯がある。
- ・栽培管理ではICT技術を導入し、ハウス（6連棟×2、4,000㎡）内の温湿度・二酸化炭素濃度等を外部からスマートフォンやパソコンで把握できる。



アレキの加温栽培ハウス

- ・栽培開始当初から、ブドウ農家と契約を結び、病害虫防除をはじめブドウ栽培全般の指導を受けており、異常発生時などの早急な対応が可能で、企業にとって重要な存在である。



アレキの栽培風景

### <和菓子製造への原料供給>

- ・アレキの収穫は5月と7～8月が中心で、収穫物は「陸乃宝珠」を製造する「(株)源吉兆庵」が全量を買取る仕組み。
- ・「陸乃宝珠」の製造に使用するアレキは、自社製造分が1割強、残りは契約農家から購入している。産地は、船穂（倉敷市）、吉備路（総社市）、山陽（赤磐市）などである。
- ・アレキの選果は1粒ずつ入念に行い、傷みなどで使用できない果粒は、ピューレにして他の商品の原料に用いている。

### 農業参入の効果や課題等

- ・自社栽培により、産地からのアレキ供給量の変動しても容易に対応ができ、原料の安定確保が可能となった。また、和菓子製造に適した規格・品質のアレキを生産できること、収穫したアレキをすぐに工場に搬入できることで菓子の品質向上につながった。
- ・和菓子製造において原料の生産から製造、販売までを一貫して行う社のこだわりが、安心と信頼を生み、広告の役割を果たした。
- ・企業自ら農業をすることでアレキ産地に意欲が伝わり、産地との信頼関係が深まって交渉事がスムーズになった。

### 今後の展開

- ・農業部門は、試行錯誤しながら年々レベルアップを図っている段階であり、規模拡大はその先と位置付けている。
- ・シャインマスカットが市場で注目されているが、当社では岡山特産であるアレキにこだわり、アレキの味を生かした商品づくりを進めていく。
- ・契約栽培によって県産果実を買取る仕組みを、農家と連携してモデル的に取り組むことで、県内農業や産地の活性化に寄与したい。

### 農業参入を目指す企業へ

農業は、栽培技術が不可欠なので、参入直後はそれをいかに確保するかが重要です。

特に果樹栽培は、開始から数年間、無収入となることや、マニュアルどおりにならない部分が多くあります。また、手間を要する作業が多く、根気が必要ですが、目標を持って取り組めば、企業の持つブランド力や価値の向上が期待できます。

